

倶楽部 Orchid GW

[クラブオーキッド GW]

変額個人年金保険(災害死亡 50%型)

特別勘定運用レポート

(組入投資信託の運用状況)

特別勘定の名称	投資信託の名称	投資信託の運用会社	ページ
日本株インデックス225 ファンド	インデックスファンド225	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社	1
新興国債券インデックス ファンド	新興国債券インデックスファンド		2
GWバランス2	グローバル・ラップ・バランス安定成長型	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 ※運用助言： SMB Cグローバル・インベストメント& コンサルティング株式会社	3
GWバランス3	グローバル・ラップ・バランス成長型		4
GWバランス4	グローバル・ラップ・バランス積極成長型		5
GWバランス5	グローバル・ラップ・バランス積極型		6
GWバランス6	グローバル・ラップ・バランス超積極型		7
SMB Cグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社のコメント			8
マネー	SMAM・FGマネーファンドVA	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	9
海外リートインデックス ファンド	海外先進国REITインデックスファンド	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社	10

募集代理店



SMBC日興証券

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命

MS&AD INSURANCE GROUP

特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって

当資料をご覧ください際にご留意いただきたい事項

- ・当資料は既に当商品にご加入されたご契約者に対し、三井住友海上プライマリー生命の倶楽部 Orchid GW〔変額個人年金保険（災害死亡 50%型）〕の特別勘定および特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況を開示するためのものです。なお、商品の詳細につきましては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」、「ご契約のしおり・約款」、および「特別勘定のしおり」等をご覧ください。
- ・当資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、[組入投資信託の運用状況]に記載されているコメント等は当資料作成時点の見解に基づくものであり、予告なく変更されることがあります。
- ・[組入投資信託の運用状況]は、運用会社が作成する運用報告を三井住友海上プライマリー生命が参考情報としてそのまま提供するものであり、内容に関しては、三井住友海上プライマリー生命の責めによるものを除き、三井住友海上プライマリー生命は一切の責任を負いません。

この保険商品についてご確認ください事項

■市場リスクについて

この保険は、払込みいただいた保険料を投資信託等を投資対象としている特別勘定で運用し、その運用実績に基づいて将来の死亡保険金額、解約払戻金額、および年金額等が変動（増減）するしくみの生命保険商品です。特別勘定の資産は、主に国内外の株式・債券等に投資する投資信託を通じて運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、解約払戻金等のお受取りになる合計額が払込まれた保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。これらの特別勘定の運用に伴うリスクはすべてご契約者に帰属します。

■ご負担いただく費用について

この保険では、保険関係費および資産運用関係費等をご負担いただきます。また、一定期間内にご契約を解約・一部解約する場合には、所定の解約控除がかかります。詳しくは次ページ「諸費用について」をご参照ください。

■その他

- ・変額個人年金保険は特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、ご契約者が投資信託を直接保有するものではありません。
- ・特別勘定のユニットプライスの値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きと必ずしも一致しません。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有することがあることや、ユニットプライスの計算に当たり保険関係費等の費用を控除すること等によるものです。

諸費用について

この保険の費用の合計は、以下の費用の合計額となります。

積立期間中にご負担いただく費用

1. すべてのご契約者にご負担いただく費用

下記の費用を控除した上で、ユニットプライスは計算されます。

項 目	目 的	費 用	時 期
保険関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに死亡保険金・災害死亡保険金等を支払うための費用	積立金額に対して年率 2.35%	積立金額に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。
資産運用関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用にかかわる費用	特別勘定ごとに異なります。詳しくは下記をご覧ください。	各特別勘定の資産残高に対して所定の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。

特別勘定の名称	資産運用関係費（年率）	特別勘定の名称	資産運用関係費（年率）
GW バランス 2	1.232%程度（消費税込）	日本株インデックス225ファンド	0.572%程度（消費税込）
GW バランス 3	1.364%程度（消費税込）	新興国債券インデックスファンド	0.66%程度（消費税込）
GW バランス 4	1.518%程度（消費税込）	海外リートインデックスファンド	0.66%程度（消費税込）
GW バランス 5	1.694%程度（消費税込）	マ ネ ー	0.00%～ 0.198%程度（消費税込）*
GW バランス 6	1.793%程度（消費税込）		

* 前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に応じた率を用いて各月ごとに決定するため、上限と下限のみを記載しております。



ご注意

- 資産運用関係費は信託報酬を記載しています。その他、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
- 資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

2. 下記のお取扱いの場合に別途ご負担いただく費用

特別勘定のユニットプライスを計算した後に特定の契約者にご負担いただきます。

項 目	費 用		時 期
積立金 移転手数料	1 保険年度に 15 回目までは無料	1 保険年度 16 回目以後の移転について 2,500 円/回	移転時に積立金から控除します。
貸付利息	契約者貸付を受けるとき	貸付金額に対して年率 2.35%	年ごとの契約応当日に積立金から控除します。
解約控除	解約するとき	経過年数に応じて、 払込保険料総額に対して 1～8%	解約時・一部解約時に積立金から控除します。
	一部解約するとき	経過年数に応じて、 一部解約請求金額に対して 1～8%	

※ 一部解約請求金額が払込保険料総額を上回る場合には、解約控除対象額は払込保険料総額を上限とします。一部解約の際に解約控除対象額として取扱われた金額については、以後の解約控除対象額の計算の対象とする払込保険料総額から控除して取扱います。

※ 契約日（増額日）から 10 年未満で一般勘定で運用する定額年金へ変更した場合には、契約日（増額日）からの経過年数に応じた解約控除がかかります。

＜解約控除率＞

契約日(増額日)からの経過年数	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上 7年未満	7年以上 8年未満	8年以上 9年未満	9年以上 10年未満	10年以上
解約控除対象額に対する解約控除率	8%	8%	7%	7%	6%	5%	4%	3%	2%	1%	0%

年金支払期間中にご負担いただく費用

下記の年金管理費を年金支払開始日以後ご負担いただきます。（遺族年金支払特約による年金も含みます。）

項 目	費 用	時 期
年金管理費	年金額に対して 1 %	年金支払開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します。

※ 上記費用は上限です。なお、年金支払開始日時点の費用を年金支払期間を通じて適用します。

データは2026年7月31日現在

マンスリーレポート

インデックスファンド225

追加型投信／国内／株式／インデックス型

ファンドの概要

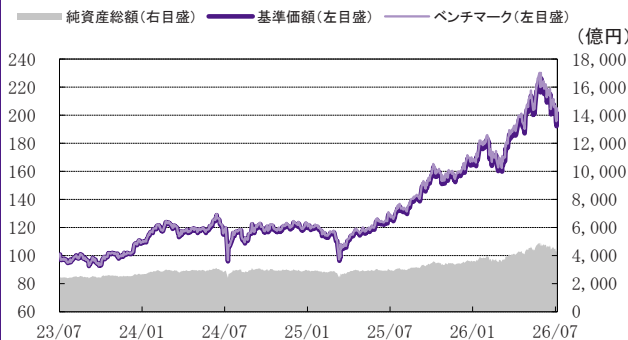
設 定 日 1988年6月17日
償 還 日 無期限
決 算 日 原則6月16日
収 益 分 配 決算日毎

ファンドの特色

1. 日本株式市場全体の動きをとらえ、日経平均トータルリターン・インデックスの動きに連動する投資成果をめざします。
 2. 「バール日本株式モデル」に従って、わが国の金融商品取引所に上場されている株式※の中から、原則として200銘柄以上に投資します。
- ※東京証券取引所プライム市場に上場されている株式となります。

運 用 実 績

＜基準価額の推移＞



※基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。
※基準価額は当ファンドに過去3年間、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。
※基準価額およびベンチマーク（日経平均トータルリターン・インデックス）は、2023年7月末を100として指数化しています。
※日経平均トータルリターン・インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。

＜株式組入上位5業種＞

	業種	比率
1	電気機器	37.9%
2	小売業	11.8%
3	情報・通信業	10.9%
4	化学	4.4%
5	機械	4.2%

※「資産構成比率」「株式組入上位10銘柄」の比率は純資産総額を、「株式組入上位5業種」の比率は組入株式の評価額の合計を、それぞれ100%として計算したものです。
※「株式組入上位5業種」「株式組入上位10銘柄」はマザーファンドの状況です。業種は東証33業種分類によるものです。
※「資産構成比率」はマザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率です。

日 経 平 均 株 価 の 概 況

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

7月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比プラス0.21%、日経平均株価が同マイナス8.14%となりました。政府が閣議決定した「骨太の方針」で成長重視や投資推進の姿勢が示されたことを受けて外国人投資家の資金流入に伴う幅広い買いが入った一方、中国の新型人工知能（AI）モデルの発表を機に米国市場でAI過剰投資や競争激化への懸念から米国の主力株が下落し、その流れが日本市場の半導体関連銘柄を中心とした売りへと波及したことなどから、国内株式市場はまちまちの動きとなりました。

東証33業種分類では、海運業、ゴム製品、鉄鋼などの25業種が上昇する一方、非鉄金属、ガラス・土石製品、電気機器などの8業種が下落しました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

※このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
※このレポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

基準価額 : 18,218円

純資産総額 : 4,483.33億円

＜基準価額の騰落率＞

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年
当ファンド	-8.19%	8.49%	21.34%	58.46%	101.34%
ベンチマーク	-8.13%	8.68%	21.71%	59.40%	104.95%

※基準価額の騰落率は当ファンドに過去3年間、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

※ベンチマークは、日経平均トータルリターン・インデックス

＜分配金実績（税引前）＞

第34期	第35期	第36期	第37期	第38期
2022/6/16	2023/6/16	2024/6/17	2025/6/16	2026/6/16
90円	120円	130円	0円	0円

＜資産構成比率＞

株式	100.0%
うち先物	1.0%
現金その他	1.0%

＜株式組入上位10銘柄＞（銘柄数： 225銘柄）

	銘柄	業種	比率
1	アドバンテスト	電気機器	12.17%
2	ファーストリテイリング	小売業	9.76%
3	東京エレクトロン	電気機器	8.66%
4	ソフトバンクグループ	情報・通信業	6.56%
5	TDK	電気機器	2.35%
6	リクルートホールディングス	サービス業	1.96%
7	ファナック	電気機器	1.85%
8	KDDI	情報・通信業	1.82%
9	イビデン	電気機器	1.73%
10	キオクシアホールディングス	電気機器	1.69%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。



データは2026年7月31日現在

マンスリーレポート

新興国債券インデックスファンド（適格機関投資家向け）

ファンドの概要

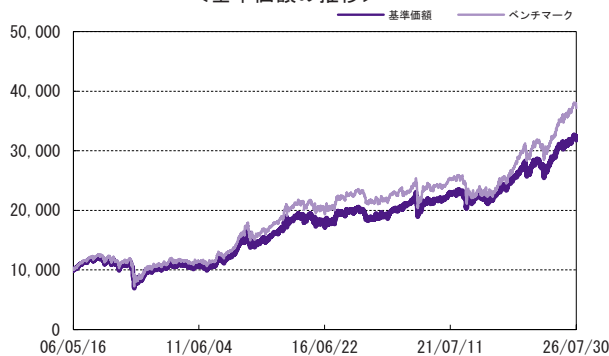
設 定 日 2006年5月17日
償 還 日 無期限
決 算 日 原則5月16日、11月16日
収 益 分 配 決算日毎

ファンドの特色

J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。

運 用 実 績

＜基準価額の推移＞



※基準価額は当ファンドに、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

※ベンチマークはJ Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（ヘッジなし・円ベース）です。

※基準価額およびベンチマークは設定日の前営業日を10,000として指数化しています。

※このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
※当レポートのグラフ、数値などは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

基準価額 : 31,110円

純資産総額 : 2.77億円

＜基準価額の騰落率＞

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-2.49%	-0.38%	4.37%	10.59%	34.44%	217.64%
ベンチマーク	-2.12%	0.56%	6.29%	15.57%	48.31%	271.35%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜分配金実績（税引前）＞

24・5・16	24・11・18	25・5・16	25・11・17	26・5・18
10円	0円	0円	0円	0円

＜資産構成比率＞

債券	比率
うち先物	0.0%
現金その他	3.3%

＜債券国別上位5カ国＞

国名	比率
1 サウジアラビア	10.5%
2 トルコ	9.1%
3 メキシコ	8.4%
4 ポーランド	7.8%
5 ブラジル	7.8%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。

＜債券組入上位10銘柄＞（銘柄数 108 銘柄）

	銘柄	種別	利率	通貨	比率
1	FED REPUBLIC OF BRAZIL	国債	5.5%	アメリカドル	1.9%
2	EAGLE FUNDING LUXCO SARL	特殊債	5.5%	アメリカドル	1.9%
3	REPUBLIC OF TURKEY	国債	9.875%	アメリカドル	1.8%
4	SAUDI INTERNATIONAL BOND	国債	5.5%	アメリカドル	1.7%
5	UNITED MEXICAN STATES	国債	6%	アメリカドル	1.6%
6	REPUBLIC OF TURKIYE	国債	7.125%	アメリカドル	1.5%
7	SAUDI INTERNATIONAL BOND	国債	4.75%	アメリカドル	1.5%
8	SAUDI INTERNATIONAL BOND	国債	5%	アメリカドル	1.5%
9	UKRAINE GOVERNMENT	国債	4%	アメリカドル	1.4%
10	REPUBLIC OF NIGERIA	国債	10.375%	アメリカドル	1.3%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

市 況 概 況

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

7月の新興国債券指数は下落しました。原油などの価格上昇が資源産出国である新興国の債券市場の支援材料となったものの、米国長期金利が上昇し相対的に高金利の新興国債券の投資魅力が低下したことなどが重しとなり、新興国債券指数は下落しました。米国とイランの対立激化懸念を背景にコモディティ価格が上昇し、インフレ懸念の高まりも下落要因となりました。

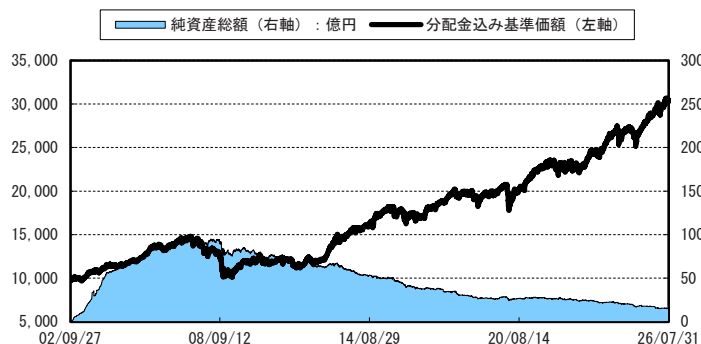
■当ファンド（マザーファンドを含みます。）は、主に債券など流動性のある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の債券の価格変動は、先進国の債券の流動性に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。



グローバル・ラップ・バランス 安定成長型

基準日 2026年7月31日

◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	29,438円
純資産総額	15.02億円

◆月間の収益分解

GWバランス 安定成長型	-0.67%
日本大型株式	-0.38%
日本小型株式	-0.03%
日本債券	-0.27%
北米株式	-0.19%
欧州先進国株式	0.22%
アジア太平洋株式	0.13%
海外債券	-0.15%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	2.17 %	4.11 %	9.48 %	7.20 %	5.85 %	5.81 %	4.74 %
ベンチマーク収益率	—	—	—	—	—	—	—
差 異	—	—	—	—	—	—	—
ファンドリスク（分配金再投資）	—	—	7.52 %	6.06 %	6.22 %	6.28 %	7.06 %
ベンチマークリスク	—	—	—	—	—	—	—

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。

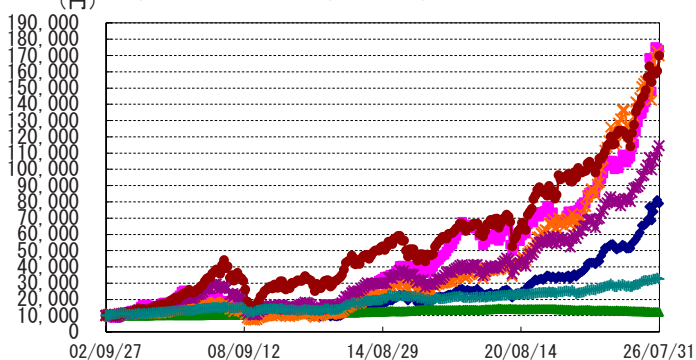
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。

※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	12.00 %	13.79 %
日本小型株式	6.00 %	6.31 %
日本債券	51.00 %	50.46 %
北米株式	13.00 %	10.19 %
欧州先進国株式	7.00 %	8.55 %
アジア太平洋株式	3.00 %	2.55 %
海外債券	8.00 %	7.43 %
短期資産その他	0.00 %	0.72 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）



※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。

日本大型株	日本小型株	日本債券	北米株
欧州株	アジ太洋株	海外債券	

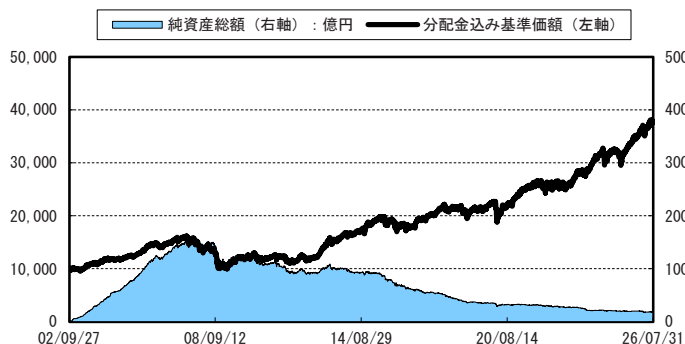
運用：アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社」が
資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

グローバル・ラップ・バランス 成長型

基準日 2026年7月31日

◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	36,558円
純資産総額	15.95億円

◆月間の収益分解

GWバランス 成長型	-0.65%
日本大型株式	-0.47%
日本小型株式	-0.04%
日本債券	-0.21%
北米株式	-0.22%
欧州先進国株式	0.27%
アジア太平洋株式	0.18%
海外債券	-0.16%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	2.90 %	5.50 %	12.91 %	9.83 %	8.04 %	7.58 %	5.68 %
ベンチマーク収益率	—	—	—	—	—	—	—
差 異	—	—	—	—	—	—	—
ファンドリスク（分配金再投資）	—	—	8.80 %	7.17 %	7.40 %	7.66 %	8.77 %
ベンチマークリスク	—	—	—	—	—	—	—

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。

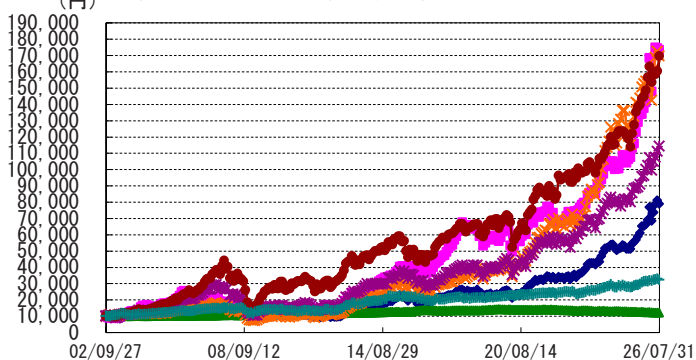
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。

※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	15.00 %	17.64 %
日本小型株式	7.00 %	7.48 %
日本債券	40.00 %	39.26 %
北米株式	16.00 %	12.53 %
欧州先進国株式	9.00 %	10.57 %
アジア太平洋株式	4.00 %	3.29 %
海外債券	9.00 %	8.24 %
短期資産その他	0.00 %	0.99 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）



※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。

運用：アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

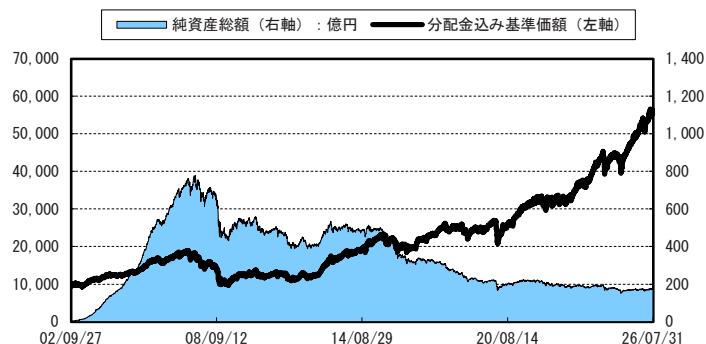
「SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社」が
資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

グローバル・ラップ・バランス積極成長型

グローバル・ラップ・バランス 積極成長型

基準日 2026年7月31日

◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	53,578円
純資産総額	171.33億円

◆月間の収益分解

GWバランス 積極成長型	-0.70%
日本大型株式	-0.67%
日本小型株式	-0.05%
日本債券	-0.11%
北米株式	-0.31%
欧州先進国株式	0.40%
アジア太平洋株式	0.21%
海外債券	-0.17%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	4.20 %	8.01 %	19.37 %	14.50 %	12.09 %	10.85 %	7.42 %
ベンチマーク収益率	—	—	—	—	—	—	—
差 異	—	—	—	—	—	—	—
ファンドリスク（分配金再投資）	—	—	11.32 %	9.26 %	9.58 %	10.16 %	11.79 %
ベンチマークリスク	—	—	—	—	—	—	—

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。

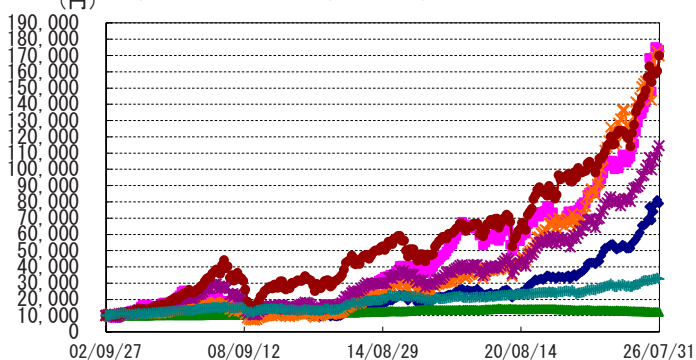
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。

※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	21.00 %	24.18 %
日本小型株式	8.00 %	8.60 %
日本債券	21.00 %	20.29 %
北米株式	22.00 %	17.31 %
欧州先進国株式	13.00 %	15.51 %
アジア太平洋株式	5.00 %	4.11 %
海外債券	10.00 %	9.02 %
短期資産その他	0.00 %	0.99 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）



※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。

運用：アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社」が
資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

グローバル・ラップ・バランス 積極型

基準日 2026年7月31日

◆基準価額の推移グラフ



◆基準価額と純資産総額

基準価額	69,534円
純資産総額	51.14億円

◆月間の収益分解

GWバランス 積極型	-0.67%
日本大型株式	-0.82%
日本小型株式	-0.05%
日本債券	-0.04%
北米株式	-0.36%
欧州先進国株式	0.49%
アジア太平洋株式	0.30%
海外債券	-0.19%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	5.27 %	10.20 %	25.14 %	18.45 %	15.48 %	13.46 %	8.60 %
ベンチマーク収益率	—	—	—	—	—	—	—
差 異	—	—	—	—	—	—	—
ファンドリスク（分配金再投資）	—	—	13.18 %	10.93 %	11.34 %	12.21 %	14.32 %
ベンチマークリスク	—	—	—	—	—	—	—

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。

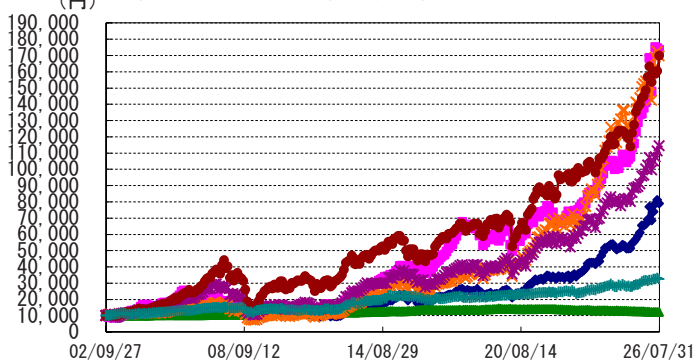
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。

※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	26.00 %	30.35 %
日本小型株式	9.00 %	9.74 %
日本債券	5.00 %	4.10 %
北米株式	26.00 %	20.17 %
欧州先進国株式	16.00 %	18.95 %
アジア太平洋株式	7.00 %	5.78 %
海外債券	11.00 %	9.79 %
短期資産その他	0.00 %	1.12 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）



運用：アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社」が
資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

● 日本大型株 ● 日本小型株 ● 日本債券 ● 北米株
● 欧州株 ● アジ太洋株 ● 海外債券

グローバル・ラップ・バランス 超積極型

基準日 2026年7月31日

◆基準価額の推移グラフ



※基準価額は、設定日の前日を10,000として指数化しています。

◆基準価額と純資産総額

基準価額	82,197円
純資産総額	50.67億円

◆月間の収益分解

GWバランス 超積極型	-0.33%
日本大型株式	-0.99%
日本小型株式	-0.04%
日本債券	0.00%
北米株式	-0.36%
欧州先進国株式	0.70%
アジア太平洋株式	0.36%
海外債券	0.00%

※「月間の収益分解」は、当ファンドの当月の騰落率と、各マザーファンドへの配分を考慮し、簡便計算したものです。

◆ファンド（分配金再投資）とベンチマークの収益率とリスク（標準偏差）

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	6.64 %	11.80 %	29.00 %	20.39 %	17.08 %	14.70 %	9.37 %
ベンチマーク収益率	—	—	—	—	—	—	—
差 異	—	—	—	—	—	—	—
ファンドリスク（分配金再投資）	—	—	14.79 %	12.01 %	12.36 %	13.51 %	16.19 %
ベンチマークリスク	—	—	—	—	—	—	—

※収益率は、1年以上の場合、年率ベースで、1年未満（3ヵ月間、6ヵ月間）は、年率換算していません。

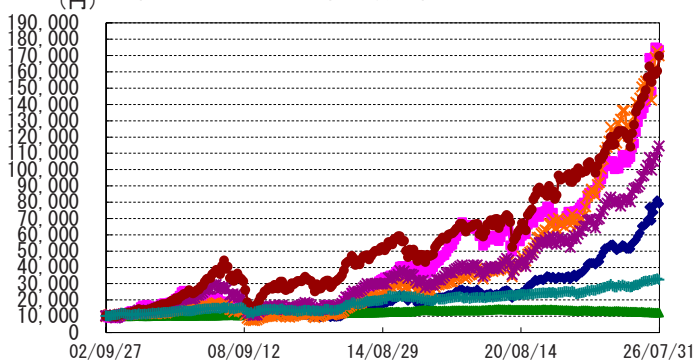
※ファンド（分配金再投資）の収益率は、当ファンド決算時に分配金があった場合の分配金を再購入（再投資）し、算出しています。

※収益率・リスクともに月次の収益率より算出しています。設定日が月中の場合、設定日が属する月は含んでいません。

◆資産構成（マザーファンドの組入構成）

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	31.00 %	36.54 %
日本小型株式	7.00 %	8.17 %
日本債券	0.00 %	0.00 %
北米株式	30.00 %	19.94 %
欧州先進国株式	23.00 %	27.35 %
アジア太平洋株式	9.00 %	7.04 %
海外債券	0.00 %	0.00 %
短期資産その他	0.00 %	0.97 %

◆各マザーファンド基準価額の推移（月末ベース）



※設定日（2002年9月27日）を10,000円として指数化しています。

運用：アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

「SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社」が
資産配分の助言、運用状況のモニタリングを行ないます。

日本大型株	日本小型株	日本債券	北米株
欧州株	アジア太洋株	海外債券	

世界の市況・経済動向

2026年8月14日
S M B Cグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第449号

■ 市況概況（7月）

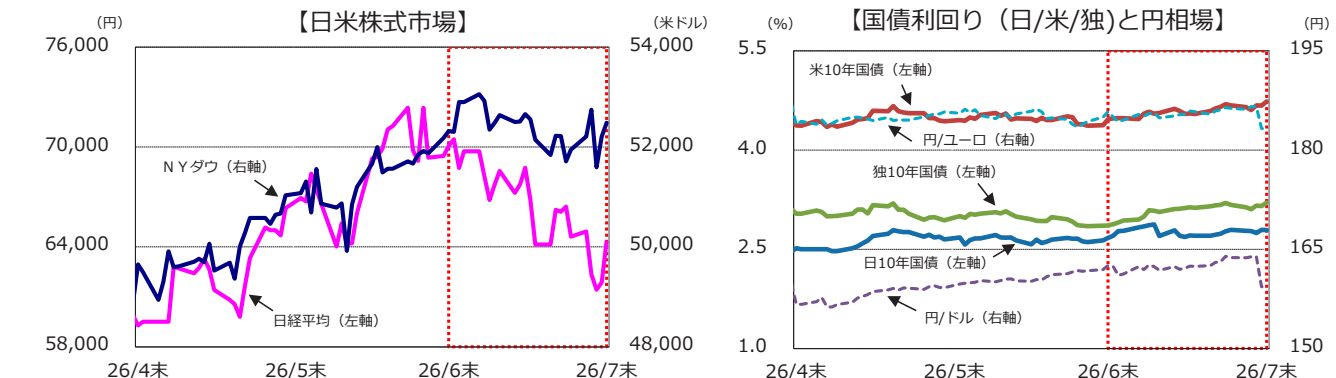
資産	コメント
日本株式	日経平均は、韓国半導体株安や米中のAI開発競争への警戒、中東情勢の悪化に加え、AI関連投資の収益性への懸念が重しとなり月の下旬まで軟調に推移。月末にやや反発。月間で-8.14%、TOPIXは+0.21%。
外国株式	米国市場では、月の前半はAI・半導体株の調整一巡や堅調な経済指標を背景にやや上昇。後半は中東情勢の緊迫化や長期金利上昇、AI関連投資の収益性への警戒を背景に軟調に推移。欧州市場は、月の前半は利上げ観測後退が支えとなる一方、中東情勢や原油高への警戒から横ばい。後半は企業業績の改善やエネルギー・金融株高を背景に上昇基調。月間でNYダウ+0.32%、ナスダック-3.20%、独DAX+2.53%、英FT+3.53%。
日本債券	10年国債利回りは上昇。月の前半は財政拡張懸念や原油高を背景に上昇後、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の資産配分見直し観測や国債需給の改善期待から低下。後半は原油高や日銀の利上げ観測を背景に緩やかに上昇。月末は2.790%。
外国債券	米10年国債利回りは上昇。月の上旬から中旬にかけて原油高を背景としたインフレ懸念や利上げ観測からやや上昇、下旬は原油価格下落で低下後、金融引き締め継続への警戒を背景に再上昇、月末は4.735%。 独10年国債利回りは上昇。月の上旬から中旬にかけて原油高やインフレ懸念を背景に上昇、下旬は原油価格の落ち着きで低下後、欧州中央銀行の追加利上げ観測や景気の底堅さを背景に再上昇、月末は3.206%。
為替	ドル円相場は、米景気の底堅さや利上げ観測、原油高や日米金利差拡大を背景に月の下旬までドル高・円安基調。月末は日米協調の円買い介入を受けたドル安・円高。月末は1ドル=159円台。 ユーロ円相場は、欧州景気の底堅さや欧州中央銀行の追加利上げ観測、ドル円上昇を背景に月の下旬までユーロ高・円安基調。月末は日米協調の円買い介入を受けたユーロ安・円高。月末は1ユーロ=183円台。

■ 当面の見通し

世界経済は、原油価格の上昇によるインフレ圧力には留意が必要だが、米国を中心としたAI関連投資の拡大や各国の財政支出を背景に、緩やかな成長基調を維持するとみる。米国経済は、AI関連の設備投資や底堅い雇用環境が景気を支え、緩やかな拡大が続く見通しである。一方、株価調整を契機とする個人消費の減速や関税政策の影響には注意が必要である。欧州経済は、良好な雇用環境や財政支出の拡大に支えられ、景気は緩やかな回復基調を維持すると予想する。インフラ投資や防衛関連支出も景気を下支えする要因となろう。日本経済は、設備投資や賃上げ、政府の物価高対策などを背景に内需が下支えされ、緩やかな回復が続く見込みである。企業の設備投資意欲も底堅く、所得環境の改善が個人消費を支える展開を想定する。新興国経済は、内需を中心とした成長が続く一方、物価上昇や金融引き締めの影響から成長ペースはやや鈍化し、国・地域による格差が広がる展開を見込む。

金融政策に関しては、米国では、インフレの二次的な波及を警戒し、年内に予防的な利上げを実施する可能性があるものの、賃金上昇率や期待インフレ率は比較的安定しており、本格的な利上げ局面への移行は想定していない。今後は景気や物価動向を慎重に見極めながら政策運営が行われる見通しである。欧州では、物価や賃金の動向を慎重に見極める政策運営が続く見通しであり、インフレ圧力が高止まりする場合には追加利上げが実施される可能性がある。一方、景気への影響にも配慮し、政策変更は段階的に進められるとみる。日本では、物価と賃金の動向を確認しながら金融政策の正常化を進める見込みであるが、政府の利上げけん制や景気への配慮もあり、利上げペースは緩やかなものにとどまるとみる。長期金利の動向にも配慮しながら、慎重な政策運営が続く見通しである。

世界株式市場では、米国株式は、AI関連投資の拡大を背景に企業利益の成長が続く、幅広い業種で業績改善が進むことから堅調に推移するとみる。欧州株式は、景気回復や銀行収益の拡大を支えに緩やかな上昇基調を維持すると予想する。日本株式は、製造業の回復やAI投資の恩恵、企業価値向上への取り組みを背景に底堅く推移するとみる。**世界債券市場**では、米国債券は、基調的なインフレ圧力が比較的安定していることを背景に長期金利は当面横ばい圏で推移するとみる。欧州債券も、物価動向を見極める展開の中で長期金利は概ね横ばい圏で推移する見通しである。一方、日本債券は、財政拡張への懸念や金融政策の正常化を背景に、長期金利が緩やかな上昇基調をたどると予想する。**為替市場**では、対ドルでは、日米金利差が大きく縮まりにくいことから円安圧力が残り、為替介入への警戒がありつつも、ドル円は下値の堅い展開が続くとみる。対ユーロでは、欧州景気の緩やかな回復や対ドルでのユーロ持ち直しを背景に、ユーロは円に対しても底堅く推移し、緩やかな上昇基調をたどる見込みである。



・信頼できると判断したデータをもとにS M B Cグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社が作成。各グラフは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

本資料は情報提供を目的としてSMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング株式会社（以下「SGIC」といいます）が作成したものであり、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に示された見解や予測は、資料作成時点のものであり、事前の通知なしに変更することがあります。本資料はSGICの著作物です。ただし、本資料で使用している指数等にかかる著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属し、SGICによる当該指数等の使用について当該開発元または公表元は一切責任を負いません。詳細は<https://www.smbc-gic.co.jp>でご参照いただけます。投資に関する最終的な判断は、お客さまご自身でしていただきますようお願い申し上げます。なお、本資料で使用したグラフおよび数値は、過去の実績であり、将来の結果を約束するものではありません。

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



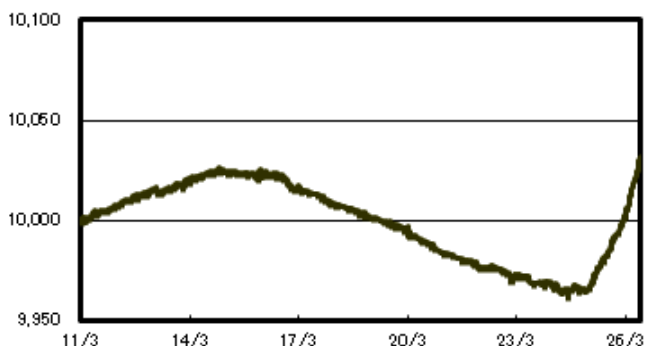
【SMAM・FGマネーファンドVA】

主として、マネーインカム・マザーファンドへの投資を通じて、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

作成基準日：2026年7月31日

● 設定来の運用実績



- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- 基準価額は、2011年3月3日を10,000とした指数として表示しております。
- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 資産構成

債券	68.8%
先物等	0.0%
短期金融商品・現金等	31.2%
合計	100.0%

● ポートフォリオ概況

クーポン(%)	0.07
残存年数(年)	0.35
修正デュレーション(年)	0.35
最終利回り(%)	0.72

● 格付構成

AAA格	68.8%
AA格	0.0%
A格	0.0%
BBB格	0.0%
BB格以下	0.0%

● 基準価額および純資産総額

	7月31日	前月比
基準価額(円)	10,032	7
純資産総額(百万円)	366	17

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	0.07%	0.18%	0.32%	0.52%	0.32%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。設定来は2011年3月3日を基準とします。上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 信託報酬率(年率)

2026年7月31日現在	0.1400%
--------------	---------

※上記信託報酬率は税抜きです。

● 債券種別構成

国債	68.8%
政府保証債	0.0%
地方債	0.0%
金融債	0.0%
事業債	0.0%
円建外債	0.0%
その他	0.0%

● 残存年月別構成

1年未満	68.8%
1-3年	0.0%
3-7年	0.0%
7-10年	0.0%
10年以上	0.0%

※構成比を示す比率は全て当ファンドの純資産総額対比です。

※「信託報酬率(年率)」につきまして、作成基準日2024年4月30日から2026年6月30日までの当レポートの記載について誤りがございました。ここに深くお詫び申し上げます。訂正させていただきます。いずれも各作成日現在の「信託報酬率(年率)」について「0.0000%」と記載されていましたが、正しくは次のとおりです。なお、今回の訂正により基準価額に訂正等の影響はありません。

2024年4月30日現在0.0305% 2024年5月31日現在0.0306% 2024年6月28日現在0.0309% 2024年7月31日現在0.0311% 2024年8月30日現在0.0313% 2024年9月30日現在0.0908% 2024年10月31日現在0.0903% 2024年11月29日現在0.0909% 2024年12月30日現在0.0910% 2025年1月31日現在0.0908% 2025年2月28日現在から2025年12月30日現在まではいずれも0.1000% 2026年1月30日現在から2026年6月30日現在まではいずれも0.1400%

データは2026年7月31日現在

マンスリーレポート

海外先進国REITインデックスファンド（適格機関投資家向け）

ファンドの概要

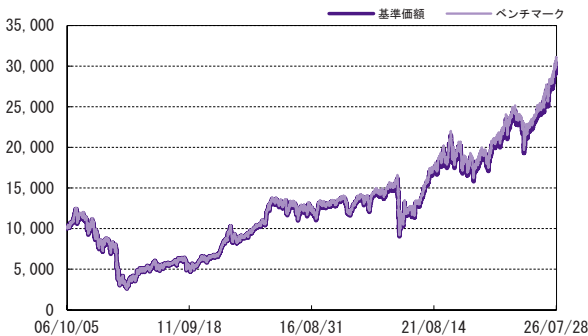
設 定 日 2006年10月6日
償 還 日 無期限
決 算 日 原則6月15日
収 益 分 配 決算日毎

ファンドの特色

S & P 先進国REIT指数（除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）に連動した投資成果を目標として運用を行ないます。

運 用 実 績

<基準価額の推移>



※基準価額は当ファンドに、分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。
※ベンチマークはS & P 先進国REIT指数（除く日本、税引後配当込み、ヘッジなし・円ベース）です。
※基準価額およびベンチマークは設定日の前営業日を10,000として指数化しています。

<資産構成比率>

不動産投信	98.9%
現金その他	1.1%

<国別上位5ヵ国>

	国 名	比 率
1	アメリカ	78.8%
2	オーストラリア	6.4%
3	イギリス	4.1%
4	シンガポール	3.1%
5	フランス	2.1%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。

※このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
※当レポートのグラフ、数値などは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

基準価額 : 28,966円
純資産総額 : 6.67億円

<基準価額の騰落率>

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	0.43%	7.35%	18.91%	28.50%	54.66%	193.86%
ベンチマーク	0.31%	7.25%	19.00%	28.54%	54.81%	201.15%

※基準価額は当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

<分配金実績（税引前）>

22・6・15	23・6・15	24・6・17	25・6・16	26・6・15
10円	10円	10円	0円	0円

<不動産投信 組入上位10銘柄>（銘柄数 276銘柄）

	銘 柄 名	国 名	比率
1	WELLTOWER INC	アメリカ	9.4%
2	PROLOGIS INC	アメリカ	7.7%
3	EQUINIX INC	アメリカ	5.8%
4	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	4.2%
5	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ	3.8%
6	REALTY INCOME CORP	アメリカ	3.4%
7	PUBLIC STORAGE	アメリカ	3.0%
8	VENTAS INC	アメリカ	2.5%
9	GOODMAN GROUP	オーストラリア	2.4%
10	IRON MOUNTAIN INC	アメリカ	2.1%

※比率はマザーファンドの純資産総額比です。

市 況 概 況

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

7月のS & P 先進国REIT指数（除く日本）は、前月末と比べて上昇しました。

米国REIT指数は、前月末と比べて上昇しました。米国の長期金利が上昇したことや、中国の新型人工知能（AI）モデルの発表を機に米国市場でAI過剰投資や競争激化への懸念が台頭し、米国株式市場が軟調となったことなどがREIT価格の重しとなったものの、米国とイランの戦闘終結に向けた協議の進展期待が一時高まったことや、米国の雇用統計や消費者物価指数（CPI）の結果を受けて米国の利上げ観測が後退する局面があったこと、発表されたREIT各社の2026年4～6月期決算内容が概ね良好であったことなどから、同指数は上昇しました。

欧州REIT指数は、前月末と比べて上昇しました。中東情勢の不透明感を背景とした商品市況の上昇により物価高や景気減速への警戒感が高まったことなどがREIT価格の重しとなったものの、ユーロ圏およびドイツの製造業とサービス業の購買担当者景気指数（PMI）速報値が市場予想を上回り、景況感の改善が示されたことや、英国の小売売上高が大幅に改善し景気の底堅さが意識されたこと、英国の物流REIT大手が米国の物流REIT大手による買収提案の価格引き上げを受け、買収を支持する姿勢を示したことなどがREIT価格の支援材料となり、同指数は上昇しました。

オーストラリアREIT指数は、前月末と比べて下落しました。オーストラリアの株式市場が底堅く推移したことなどがREIT価格の支援材料となったものの、米国とイランの対立激化懸念を背景に原油価格が上昇し、世界的に物価上昇圧力が高まるとの警戒感が強まったことや、オーストラリアの雇用統計が堅調な結果となり、オーストラリア準備銀行（RBA）による追加利上げ観測が強まったことなどがREIT価格の重しとなり、同指数は下落しました。

■当ファンド（マザーファンドを含みます。）は、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に不動産など値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。



募集代理店

SMBC日興証券株式会社

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

資料請求・お問い合わせ

フリーダイヤル 0120-125-104

<https://www.ms-primary.com>